

平成24年度

一般財団法人むなかた地域農業活性化機構事業報告書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

一般財団法人 むなかた地域農業活性化機構

I. 全体総括

当初計画した事業については、各事業とも概ね計画どおりの実績となった。農地利用集積円滑化事業については、昨年度を上回る64件23.2haを集積し、事業開始から2年5カ月間で累計124件49.7haとなった。また、新たな事業として、認定農業者フォローアップアンケート及び面接相談、農業生産法人（株式会社）設立支援、JAむなかたとの共催による“むなかた「食と農」地域フォーラム”開催、イチジク農作業ヘルパー研修、特産品開発支援事業助成金、新規就農研修事業の検討、遊休農地へのあんず苗木植樹支援、人・農地プラン作成支援等を実施し、大部分が手探りでの取り組みであったが、それぞれ一定の成果をあげることができた。

II. 事業活動の概要

1. 担い手経営改善事業

(1) 宗像市認定農業者協議会事務局事務

- ①宗像市農業委員会との意見交換会（7/31・参加者7人）
- ②福津市認定農業者協議会との合同による研修会として、合資会社「若竹屋酒造場」の林田浩暢社長を招いて「目標！夢！ビジョン 家族共有で経営改善」と題した講演を実施した。（8/28・参加者44人（うち宗像市23人））
- ③福岡県水田農業振興課職員及び宗像市の担当係長を招いて、水田農業経営力強化事業及び人・農地プランに関する研修会を実施した。（9/21・参加者24人）
- ④第13回枝豆狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。（10/13・参加農業者29人・一般参加者約1,400人）
- ⑤福津市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施し、雇用を活用した大規模経営及び農事組合法人の先進的な取り組み等を視察した。（10/29～30・参加者35人（うち宗像市19人））
視察先：大藪進氏イチゴハウス、農事組合法人きのこの里（三潞郡大木町）ほか
- ⑥役員・運営委員による視察研修を実施し、新規就農者の雇用を行った農事組合法人等を視察した。（1/21～22・参加者7人）
視察先：農事組合法人ファームつるの里（山口県周南市）
- ⑦その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、福岡県農林水産部長との意見交換会、北筑前地域担い手・産地育成総合支援協議会研修会等へ参加した。

(2) 福津市認定農業者協議会事務局事務

- ①宗像市認定農業者協議会との合同による研修会として、合資会社「若竹屋酒造場」の林田浩暢社長を招いて「目標！夢！ビジョン 家族共有で経営改善」と題した講演を実施した。（8/28・参加者44人（うち福津市21人））
- ②宗像市認定農業者協議会との合同による視察研修を実施し、雇用を活用した大規模経営及び農事組合法人の先進的な取り組み等を視察した。
（10/29～30・参加者35人（うち福津市16人））

視察先：大藪進氏イチゴハウス、農事組合法人きのこの里（三瀨郡大木町）ほか
③ 13回目となるみかん狩り交流会を開催し、認定農業者と一般参加者との交流を図った。

（11/10・参加農業者12人、一般参加者約1,000人）

- ④ 福津市の農業・農政に関する諸問題等について、福津市、議会、福津市農業委員会、北筑前普及指導センター、JAむなかた等の関係団体と意見交換会を実施した。
（12/18・参加者39人（うち認定農業者20人、関係団体18人））
- ⑤ 小郡市から田籠富子氏・隆司氏ご夫婦をお招きして「夫婦二人三脚で取り組んだ経営改善」と題した講演を実施した。（2/26・参加者24人）
- ⑥ ふくつほほえみグループ男女共同参画事業の活動を支援した。（研修交流会等）
- ⑦ その他、福岡県認定農業者組織連絡協議会総会、理事会、福岡県農林水産部長との意見交換会、北筑前地域担い手・産地育成総合支援協議会研修会等へ参加した。

（3）認定農業者フォローアップアンケート・面談

- ① 農業経営改善計画の中間年（3年目）にあたる認定農業者を対象に、計画の達成状況に関するアンケート調査を実施した（9月実施・宗像市28経営体、福津市11経営体）。
- ② アンケート集計結果と北筑前普及指導センターが実施した事前面談結果を元に、フォローアップ面談の対象者を選定し、関係機関との合同による面談指導を実施した（2/13～2/15、宗像市3経営体、福津市2経営体）。また、必要に応じて税理士も同席し、農地の相続や家族経営のあり方に関する専門的なアドバイスを行った。

（4）宗像地区集落営農組織連絡協議会事務局事務

- ① 福岡県福岡農林事務所農業振興課の担当係長を招いて機械導入等に係る補助事業について研修会を実施した。（9/13・参加者16人）
- ② 視察研修会を実施し、先進的な経営を行っている法人の経営安定に向けた工夫や取り組み等を視察した。（1/25～26・参加者10人）
視察先：農事組合法人行合野（佐賀県唐津市）

（5）新設農事組合法人等の支援

昨年度に新設された農事組合法人2法人について、経理事務、決算事務等に関する支援を実施した。また、農業生産法人（株式会社）の新設相談に対して、設立スケジュール作成、設立に関する基本的事項の素案作成、定款案作成等の支援を行った。また、設立後の早期経営安定化のため、関係機関との連携による経営検討会議を定期的に開催しアドバイスを実施した。

① 農事組合法人のさか及び農事組合法人曲

野坂集落営農組合解散総会（5/17）、関係機関協議（5/23）、合同税務相談会（6/7）、経理に関する合同勉強会（8/30）、決算整理相談会（10/4）、農事組合法人のさか第1回通常総会（10/27）農事組合法人曲第1回通常総会（10/30）

②株式会社アグリビジネス九州

平成24年9月10日設立

経営支援検討会議（11/22、12/18、12/25、1/16、3/5）

(6) 雇用システム実証事業

福岡県園芸農業等総合事業費補助金を活用して、農家間の労働力融通の円滑化や外部からの労働力の確保を図るため、雇用調整システムの構築に取り組んだ。

- ①農家及び関係機関等による雇用システム実証会議を開催し、雇用調整システム構築に向けた検討を行った。（開催回数2回）
- ②宗像市及び福津市自治会回覧によりイチジクに関する農作業ヘルパー研修受講者を募集し作業説明会を開催した。（7月）
- ③農作業ヘルパー研修申込者42人のうち14人を選抜し、JAむなかたイチジク部会会員5経営体で農作業実地研修を実施した（8/21～9/6、1人あたり平均約10日間）。
- ④研修終了後、受入農家及び研修受講者それぞれの意見交換会を開催した（11月）。
- ⑤研修受講者のうち11人が引き続き受入農家で雇用された。また、その他に3人がイチジク農家に雇用された。
- ⑥宗像市及び福津市自治会回覧によりイチゴに関する農作業ヘルパー研修受講者を募集し作業説明会を開催した。（2月）
- ⑦農作業ヘルパー研修申込者85人のうち7人を選抜し、域内のイチゴ農家2経営体で農作業実地研修を実施した（3/11～3/17、1人あたり平均約3日間）。
- ⑧研修受講者のうち4人が引き続き受入農家で雇用された。また、その他に3人がイチゴ農家に雇用された。
- ⑨その他、みかん農家（3人）、トマト農家（1人）、JAむなかた（2人）で雇用された。

(7) 農業体験農園等開設モデル支援

農家の経営改善に向けた取り組み支援のひとつとして、「ダンディ幸一農園」「正助にこにこ農園」「瀧産の体験農園元気村」の運営支援（募集案内チラシ作成、宗像市及び福津市自治会回覧、ホームページ掲載、3園合同募集説明会（3/17）開催等）を行った。また、新たに、農業体験農園のPRのための「農業体験農園巡りバスツアー」（12/15、参加者29人）を開催した。

- ①「正助にこにこ農園」平成24年度利用区画数16区画
- ②「ダンディ幸一農園」平成24年度利用区画数5区画
- ③「瀧産の体験農園元気村」平成24年度利用区画数16区画

2. 後継者育成支援事業

(1) 新規就農者育成支援

- ①新規就農相談者への対応のため、統一様式の相談カードを関係機関に配布し、関係機関による情報共有と適切なアドバイスの実施に努めた。(相談カード提出10人)
- ②新規就農希望者が利用できる農地情報を収集するため、農家向けの情報提供依頼チラシを作成し、戸別所得補償申請受付時等に配布した。(7/17・情報収集1件)
- ③福岡県主催の「ふくおか農林漁業就業セミナー・相談会」に個別相談ブースを出展し、相談対応を実施した。(1/5・相談者11人)
- ④北筑前普及指導センターとの共催により、域内での就農に関心のある者を対象とした「むなかた地域新規就農相談会」を開催した。(1/20・参加者10人)
- ⑤新たな取り組みとして、福岡県経営技術支援対策関係事業費補助金を活用して、関係機関との連携により、むなかた地域独自の農業研修制度の検討(講師、研修圃場、対象作物等)を行った。
- ⑥上記の取り組みにより、域内就農(予定者含む)4人、農家研修3人となった。
- ⑦宗像市及び福津市の「人・農地プラン」及び「青年就農給付金」に関する取り組みについて、関係者協議、対象者ヒアリング、集落説明会、個別相談対応等の支援を行った。

(2) 若手女性農業者育成支援

若手女性農業者研修交流会を開催し、農産加工所「まんま実～や」(古賀市)代表による講演と交流会を開催した(2/25・参加者14人)。また、新たに域内の若手女性農業者によるグループ(菜の花会)立ち上げを支援し、当該グループとの共催事業とすることで、女性農業者の自主的な取り組みへの移行を図った。

(3) 青年農業者育成支援

- ①北筑前アグリネット(農業士・女性農村アドバイザー連絡協議会、事務局:北筑前普及指導センター)に対して、活動助成金として40千円を交付した。
- ②宗像地区青年農業者会(事務局:北筑前普及指導センター)が実施した平成24年度宗像地区青年農業者ふれあい農業体験交流会に対して、助成金として100千円を交付した。(7/15・参加者20人、11/4・参加者24人)

3. 生産流通振興支援事業

(1) 直売所振興支援

- ①むなかた産農産物加工品等の知名度向上と消費拡大を図るため、「道の駅むなかた」において、宗像育ちシリーズ(米・醤油・味噌・豆腐・とまと、いちじくジャム等)の試食宣伝販売を実施した。(2/22)
- ②宗像地区の常設直販施設(5か所)を通じたむなかた産農産物等の消費拡大を図るため、宗像地区直販施設連絡協議会(事務局:北筑前普及指導センター)の事業として、

直売所スタンプラリー（10/13～11/25・応募764通）、安全・安心農林水産物制度研修会（8/3・参加者141人）を開催した。

（2）域内流通振興支援

- ①むなかた産大豆の消費拡大を図るため、「むなかた産大豆巡り」として、地元産大豆を使うテンペ工場や大豆圃場の見学、味噌づくり体験などを実施した。
（11/16・参加者23人）
- ②むなかた産農産物の消費拡大PRのため、JR福間駅において、宗像育ちシリーズ（米・醤油・味噌・豆腐・いちじくジャム・テンペ商品等）のリーフレットやチラシ等を配布した。（10/22・300部）

（3）特産品開発

- ①むなかた産農産物を活用した特産品開発の助成を行うため、特産品開発支援事業助成金交付要綱を施行し（5/23）、以下の3団体に助成金を交付した。
 - <1>NPO法人 宗像コスモス会共同作業所（宗像市）
むなかた地域産米粉を使用したケーキ
 - <2>青谷 喜美江（福津市）
福津市産イチゴを使用したイチゴチップス・イチゴドレッシング
 - <3>ダンデリオン（福津市）
むなかた地域産農産物を使用したキューブキッシュ
宗像市産牛肉を使用したハンバーグ
- ②福津市産あんずのブランド化を図るため、遊休農地（2,500㎡）にあんず苗木の植樹を行う団体を支援した（3/29・25本）。

4. 農地利用集積円滑化事業

（1）重点地区（集落）での推進活動

宗像市、福津市が行う「人・農地プラン」の集落説明会に参加し、経営規模を縮小する農家や経営作物を転換する農家がいる集落での人・農地プランの作成を支援することで、担い手農家への農地集積を図った。また、受け手となる担い手がない集落の農地については、JAむなかたへ集積を図った。

- ①牟田尻集落（田島地区）において、経営規模を縮小する農家の農地について、耕作者を集め、集積図の作成や借受けに関する条件等について話し合いを行った。（8/20、9/11、9/19）また、農地所有者に事業の説明を行い、農地所有者17名から本財団への委任を受けた。委任を受けた農地については、担い手農家3名に集積し、牟田尻集落の人・農地プランに位置づけた。（12/20）
- ②深田集落（田島地区）において、経営規模を縮小する農家の農地所有者に対して事業の説明を行い、集落内の農地について話し合いを行った。（10/3・8名参加）その後、農地所有者10名から本財団へ委任を受けた。委任を受けた農地については、深田集落の耕作者で話し合い（11/19）、担い手農家4名に集積し、深田集落の人・農地プ

ランに位置づけた。(3/13)

- ③吉田集落・山ノ上集落(田島地区)において、経営規模を縮小する農家の農地を担い手農家1名に集積し、吉田・山ノ上集落の人・農地プランに位置づけた。(12/26)
- ④村山田集落(東郷地区)において、JAむなかたの担当者と農家集会に参加し、借り手が決まっていない農地について改めて受ける農家がないことを確認の上で、JAむなかたの農業経営事業を説明し、JAむなかたが農業者(借り手)となって耕作する了解を得ることができた。その後、所有者4名の農地についても貸付けに関する条件の調整・協議を行い、JAむなかたへの集積を図った。
- ⑤津屋崎地区の大規模農家7名と福津市、北筑前普及指導センター、JAむなかた等の関係機関を集めて24年度の耕作状況や今後の農地の集積に向けた話し合いを行った。(9/10・参加者13名)

(2) 農地の貸借に関する相談窓口業務

- ①市に提出する利用権設定申出書の記入指導や取次業務を行った。
- ②農地所有者からの相談・委任を受けて、関係機関と連携して受け手となる耕作者を選定し、貸付けに関する条件の調整・協議を行った。

(3) 集積後の調整業務

- ①23年度から委任を受けて集積した岬地区において、農地所有者と耕作者との意見交換会を実施した。(3/26・参加者9名)
- ②農業者戸別所得補償制度による規模拡大加算の申請事務を行った。
・対象者14名 ・対象農地2,089a ・交付金4,178千円

(4) 24年度集積実績

| 市名 | | 委任(所有者)件数 | 集積面積 |
|-----|------|-----------|------------|
| 宗像市 | 24年度 | 46件 | 157,172㎡ |
| | (累計) | (77件) | (305,497㎡) |
| 福津市 | 24年度 | 18件 | 74,831㎡ |
| | (累計) | (47件) | (192,501㎡) |
| 計 | 24年度 | 64件 | 232,003㎡ |
| | (累計) | (124件) | (497,998㎡) |

5. その他の事業

(1) むなかた「食と農」地域フォーラム

JAむなかたとの共催により、RKBラジオパーソナリティの中西一清氏を招いて「食べることは、生きること」と題した基調講演と域内の若手農業者と消費者の代表を交えてのパネルディスカッション「ともに考えよう! これからの食と農 IN むなかた」を実施した。(2/7・参加者438人)

(2) 広報紙発行

農家向けへの情報媒体として「むなかたアグリ・レター」第3号を発行し、JAむなかた広報誌「べじたふる」1月号とあわせて配布した。(6,000部)

(3) ホームページ開設

主に市民一般向けの情報媒体としてホームページを活用し、イベント案内等の情報を掲載した。(更新回数37回)

(4) 第34回農業功労賞表彰

JAむなかた農業まつりにおいて、第34回農業功労者表彰を実施し、清水正博氏(宗像市)、JAむなかた柑橘部会(花田博志部会長)、JAむなかた青年部福津支部(谷口利美支部長)をそれぞれ表彰した。(11/24)

Ⅲ. 業務管理の概要

1. 理事会 開催2回

(1) 平成24年5月21日開催

場所: JAむなかた本店201会議室

第1号議案

平成23年度事業報告・決算の承認について

原案のとおり承認可決。

第2号議案

平成24年度事業計画(案)・予算(案)の承認について

原案のとおり承認可決。

第3号議案

新役員(案)の承認について

原案のとおり承認可決。

第4号議案

理事の再任(案)の承認について

原案のとおり承認可決。

第5号議案

代表理事及び業務執行理事の承認について

原案のとおり承認可決。

(2) 平成24年11月9日開催

場所: JAむなかた本店201会議室

報告事項

・各事業の進捗状況について

- ・平成24年度農業功労賞表彰について
- ・視察研修報告について

2. 評議員会 開催1回

(1) 平成24年5月29日開催

場所：JAむなかた本店101会議室

第1号議案

平成23年度事業報告・決算の承認について
原案のとおり承認可決。

第2号議案

平成24年度事業計画（案）・予算（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

第3号議案

新役員（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

第4号議案

理事の再任（案）の承認について
原案のとおり承認可決。

3. 登記

平成24年3月31日 理事・監事変更登記

辞任 (理事) 梶谷善孝 (監事) 安部徹二

平成24年5月29日 理事・監事変更登記

就任 (理事) 井上康幸 (監事) 鳥巢好孝

重任 (代表理事) 宮部武文

(理事) 宮部武文・荻原哲夫・小島信昭・石村清治・小田達也・亀石敏嗣
・船津重敏・神谷正和

4. 在勤者数（平成25年3月31日現在）

| | |
|------------------|----|
| 事務局長（業務執行理事） | 1名 |
| 事務長（嘱託職員） | 1名 |
| 事務局員（宗像市から派遣） | 1名 |
| 事務局員（福津市から派遣） | 1名 |
| 事務局員（JAむなかたから出向） | 1名 |
| 事務局員（正規職員） | 1名 |
| 事務局員（臨時職員） | 1名 |
| 計 | 7名 |